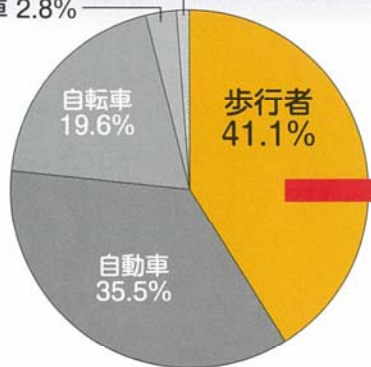




敬老の日に 反射材 を贈ろう!

光って 知らせて 交通安全!

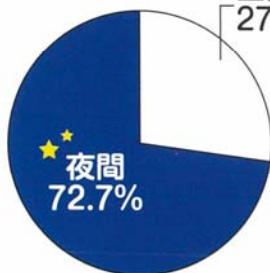
その他 0.9%
二輪車 2.8%



青森県内の高齢者の
交通死亡事故の状況 (H30~R4)

※円グラフの構成率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

昼間
27.3%



歩行者の昼夜別 (H30~R4)

交通事故死者数の約6割は高齢者。
高齢歩行者の死亡事故は
約7割が夜間に発生!

だから、 反射材!

つけましょう

光らせましょう

反射材 & LEDライト

夜の安全は「見せる」ことから

反射材をつけていても...

- 自分の姿が見えやすい明るい場所から渡る。
- 車の流れが完全に途切れてから渡る。
- 交差点では、右・左折車をやりすです。



青森県交通対策協議会

問合先：青森県環境生活部 県民生活文化課
電話：017-734-9232



目立たせて、気づかせて、事故防止!

夕暮れや夜間は、運転者から歩行者や自転車利用者の姿が見えにくいので、交通事故の危険性が高まります。

反射材やLEDライトを身につけ、車のライトの光を反射させたり、自ら光らせることで、より遠くから自分の存在を目立たせ、運転者に早く気づいてもらいましょう。

見えてるだろう



夜、運転者からはこんなに見えてない!



反射材 LEDライトで 運転者からこんなに見える!



腕や足など 重く部分につけると より効果的だよ!



夜、車の運転者から歩行者が見える距離



黒っぽい服装
約26m



明るい色の服装
約38m



反射材を着用
約60~
130m



こんなとき、車の運転者から歩行者の姿は見えにくい!



右左折車がいる交差点を渡るとき

右左折車のライトが横断中の歩行者などを照らしていない(運転者からは見えていない)かもしれません



明るい店の近くの暗がりやを渡るとき

走ってくる車の運転者は明るい照明で目がくらみ、暗い場所にいる歩行者がよく見えていないかもしれません



通り過ぎた車の後ろから渡るとき

左からくる車の運転者は通り過ぎた車のヘッドライトに目がくらみ、歩行者を見落とすかもしれません